

家本政明国際主審講演会 実施報告書

- ・講演内容 『審判人生』～すべては捉え方ひとつで変わる～
- ・実施日 2016年 12月16日(金)
- ・実施時間 19時～20時半
- ・実施場所 交流館ぷらと(別海町)
- ・参加人数 50名

審判員、指導者、選手、サッカー未経験者合わせて総勢50名の参加者の中、講演会は開催されました。現役国際主審の講演会とあって、参加者の視線も熱いものがありました。

1. サッカーと審判と家本政明
 - これまでどんな人生だったのか?
 - 審判活動は楽しいのか?
2. 審判活動がもたらしたもの
 - 自己の創造
 - 人的ネットワーク
3. 終わりに

と大きく3つの構成で講演していただきました。

1、では自分のこれまでの審判人生をグラフに表して苦楽すべてを語ってくれました。

審判活動の楽しい事、楽しくない事もそれぞれわかりやすく項目に分けてお話して頂きました。

2、の自己の創造では『自己を創るために大切な7つのこと』

人的ネットワークでは『仲間をつくるために大切な7つのこと』とポイントをあげて頂き大変興味深いお話でした。特に赤字の部分大切にしているとの事でした。

自己の創造

[自己を創るために大切な7つのこと]

1. 過去を悔やまず、未来を恐れず、今を精一杯生きること
2. 常に疑問を抱き自分なりの考えをもつこと
3. まずは色々やってみる(満足・安心しない/囚われぬ)こと
4. できるまでやり続けること(「分かる」と「できる」は違う)
5. 時間を大切にする(やること/やらないことを決める)こと
6. 歴史や人(偉人/先人/仲間/自分)から学ぶこと
7. いつも明るく元気に前向きでいること

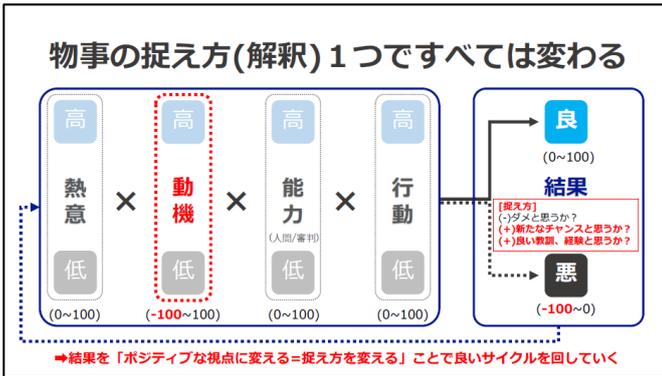
人的ネットワーク

[仲間をつくるために大切な7つのこと]

1. 相手に興味を持ち大切にすること(気配り/目配り/心配り)
2. 相手の話をよく聞くこと
3. 相手を受け止めること
4. 相手に誠実であること(嘘をつかない/陰口を言わない)
5. 相手を信じること
6. 相手の良いところを認め、悪いところには眼をつぶること
7. 相手と過去(why)よりも未来(how)の話をする事

3、の終わりでは

1. 物事の捉え方(解釈) 1つで「全ては変わる」
2. 「人間力を高める」事が良い審判員への近道の2つのテーマをもとに表を使ってわかりやすく説明して頂きました。



物事の捉え方(解釈) 1つですべては変わる

[捉え方(解釈)をプラスにする5つの方法]

1. 視点を変える/幅広く考える
2. 感情や心を整える (「負」・「不」を排除する)
3. 体調を整える
4. 明るく元気に前向き (笑顔) でいる
5. 知見を広める

人間力を高める事が良い審判員への近道

[審判の役割]

- ・選手が気持ちよく伸び伸びプレーし、サッカーの魅力を最大限引きだせるよう、彼彼女たちの安全を守り、プレーを最大限保証しながら導く
- ・試合を観ている人たちが心からサッカーを楽しめるよう、いろいろな人と協力してより良いサッカーを提供する

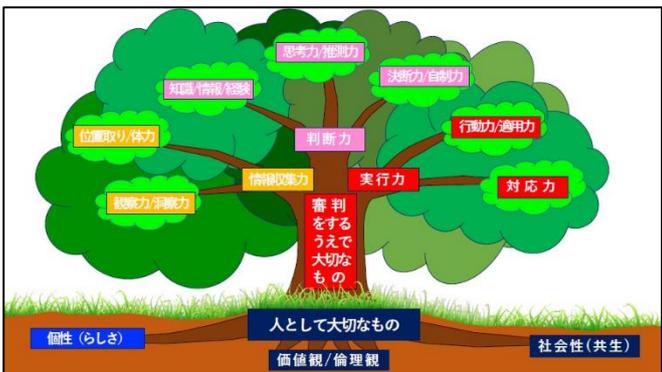
⇒これらを実現するためにまずは何を身につける (伸ばす) 必要があるのか?

人間力を高める事が良い審判員への近道

[なぜ審判技術向上の前に人間力向上なのか]

- ・「正しさとは何か?」「審判はどうあるべきか?」あるいは「何を許さないのか?」「どこまでさせるのか?」といった競技規則の施行や選手の対応への判断基準の元はその人自身の価値観や倫理観である
- ・審判員自身の性格や特徴 (外見や態度・仕草) は、判定の正しさ以上に選手や観客に大きな影響を与える

⇒審判技術を取り扱うのはその人自身であるため、人間力を高めることがより重要



人間力を高める事が良い審判員への近道

[人間力(審判力)を高めるうえで大切な7つのこと]

1. 全てに誠実であること
2. 常に全力を出し切ること
3. 様々なことに興味をもち疑問を抱くこと
4. 具体的かつ論理的に考える/話せること
5. 自分を整える (内面・外見・行動) こと
6. 自分を変化し続けること
7. 自分と相手が笑顔になれるよう務めること

最後の質疑応答では現役審判員の実際に現場で悩んでいる事や、家本さんが実際に現場で行っている事などへの質問が飛び交い、一つひとつ丁寧に答えて頂きました。現役国際審判員の回答に審判員たちも満足した面持ちでした。また次回、今度は実際のレフェリングもして頂く事を約束して、講演会を無事終了する事が出来ました。この講演会開催にあたり、様々な場面で協力して頂いた方々に感謝と御礼を込めて講演会の報告と致します。

